▼コルスバ静注透析用シリンジ ［注］

【重要度】　【一般製剤名】ジフェリケファリン酢酸塩　Difelikefalin Acetate　【分類】透析そう痒症改善剤［κオピオイド受容体選択的作動薬］
【単位】▼17.5μg・▼25μg/▼35μg/Syr［全て0.7mL］
【常用量】DWに応じ1回量を設定
45kg未満： 17.5μg
45kg以上65kg未満： 25.0μg
65kg以上85kg未満： 35.0μg
85kg以上： 42.5μg
【用法】週3回，HD終了返血時に静脈回路から投与
【透析患者への投与方法】常用量（1）
【保存期CKD患者への投与方法】HD例のみに適用（1）
【特徴】κオピオイド受容体選択的な作動薬．既存治療で効果不十分な場合の血液透析患者のそう痒症に適用.
【主な副作用・毒性】浮動性めまい，傾眠，血圧低下，ほてり，倦怠感，甲状腺ホルモン低下，TSH低下，プロラクチン増加，頭痛，下痢，精神状態変化など
【安全性に関する情報】自動車運転等禁止［眠気，めまい］（1）
【代謝】代謝されない（1）代謝酵素やトランスポーターの基質ではなく阻害しない（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率80%［健常人］，HD患者は60%糞便中に排泄され，20%がHD除去される（Stark JG, et al: Clin Pharmacokinet　2023 PMID: 37369955）
【t1/2】健常人2～3hr，透析40hr（1）HD患者に反復投与しても透析性が高いためほとんど蓄積しない（1）
【蛋白結合率】23.3～27.5%［HD例］（1）
【Vd】0.34L/kg［HD例］（1）
【MW】679.85
【透析性】除去される［濃度低下率76%］（1）
【O/W係数】
【相互作用】オピオイド系薬による相加的あるいは拮抗的作用の可能性（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児CKD患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】妊婦には有益性投与
【主な臨床報告】0.5μg/kgを適用して検証したphase2（Narita I, et al: JAMA Netw Open 2022 PMID: 35511180）
【更新日】20230927

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。